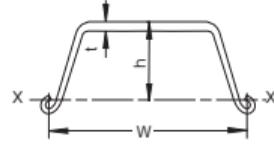


鋼矢板

基礎土止用材

U形鋼矢板



断面性能

型 式	寸 法			鋼矢板1枚当り				壁幅1m当り			
	有効幅 W mm	有効高さ h mm	厚さ t mm	断面積 cm ²	断面二次 モーメント cm ⁴	断面係数 cm ³	単位質量 kg/m	断面積 cm ² /m	断面二次 モーメント cm ⁴ /m	断面係数 cm ³ /m	単位質量 kg/m ²
NS-SP-II	400	100	10.5	61.18	1,240	152	48.0	153.0	8,740	874	120
NS-SP-III	400	125	13.0	76.42	2,220	223	60.0	191.0	16,800	1,340	150
NS-SP-IV	400	170	15.5	96.99	4,670	362	76.1	242.5	38,600	2,270	190
NS-SP-VL	500	200	24.3	133.8	7,960	520	105	267.6	63,000	3,150	210
NS-SP-VIL	500	225	27.6	153.0	11,400	680	120	306.0	86,000	3,820	240
NS-SP-II _w	600	130	10.3	78.70	2,110	203	61.8	131.2	13,000	1,000	103
NS-SP-III _w	600	180	13.4	103.9	5,220	376	81.6	173.2	32,400	1,800	136
NS-SP-IV _w	600	210	18.0	135.3	8,630	539	106	225.5	56,700	2,700	177

品質

名 称	規格記号	化学成分 (%)						炭素当量 (%) Ceq.
		C	Si	Mn	P	S	N	
溶接用熱間 圧延鋼矢板 JIS A 5523	SYW295	0.18以下	0.55以下	1.50以下	0.04以下	0.04以下	0.0060以下	0.44以下
	SYW390							0.45以下
熱間圧延 鋼矢板 JIS A 5528	SY295	-	-	-	0.04以下	0.04以下	-	-
	SY390							

注：炭素当量=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14

名 称	規格記号	降伏点 または耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	試験片	伸び %	シャルピー吸収エネルギー (J)				試験片および 試験片採取 方向
						試験温度 (°C)	標準試験片 10×10mm	サブサイズ試験片 10×7.5mm	サブサイズ試験片 10×5mm	
溶接用熱間 圧延鋼矢板 JIS A 5523	SYW295	295以上	450以上	1A号	18以上	0	43以上	32以上	22以上	Vノッチ 圧延方向
				14B号	24以上					
	SYW390	390以上	490以上	1A号	16以上					
				14B号	20以上					
熱間圧延 鋼矢板 JIS A 5528	SY295	295以上	450以上	1A号	18以上	-	-	-	-	-
				14B号	24以上					
	SY390	390以上	490以上	1A号	16以上					
				14B号	20以上					

注：当社のU形鋼矢板の化学成分、機械的性質はJIS A 5523-2021またはJIS A 5528-2021に準拠しています。
N(窒素)は、JIS A 5523-2021 5.化学成分 表2の注に準じ全窒素量で表示します。

形状・寸法の許容差

項目		許容差		
全幅	広幅型以外	有効幅×±1%		
	広幅型	+6 -5mm		
高さ		±4%		
厚さ	10mm未満	+1.0mm -0.3mm	※JIS A5528の場合は±1.0	
	10mm以上16mm未満	+1.2mm -0.3mm	※JIS A5528の場合は±1.2	
	16mm以上	+1.5mm -0.3mm	※JIS A5528の場合は±1.5	
長さ		+規定せず 0		
曲がり	長さ10m以下	全長×0.1%以下 最大20mm		
	長さ10mを超えるもの			
反り	長さ10m以下	全長×0.2%以下 最大20mm		
	長さ10mを超えるもの			
断面の直角切断差		有効幅の4%以下		
全幅差		端部1m以内で全幅の最大と最小の差が4mm以下		
端曲がり		端部から1mの弦側測定値、 もしくは接線側測定値の1/2で、1.5mm以下		
継手かん（嵌）合角度		≥6°		

注：1. 当社のU形鋼矢板の形状・寸法の許容差は、JIS A 5523-2021、およびJIS A 5528-2021に準拠しています。

2. 曲がりは、矢板壁に対して平行方向、反りは矢板壁に対して直角方向とします。